



平野 泰造

暗渠排水事業の面積拡大を

市長

事業規模の計画変更を
県・国へ要望を行う

問 今年より3年間で施工される暗渠排水事業(国の直接補助受益者一割負担)の計画面積は小城市牛津町合わせて150ha三日月町150ha芦刈町150ha合計450haとして各農家へ希望調査をされたが①その結果は②オーバー分の面積の方策は③各町予定面積の枠があり要望面積を出せずにいた方々の方策は。(残り1800ha以上)

答 (市長) ①調査結果は、小城市155ha牛津町205ha三日月町300ha芦刈町290ha②オーバー分の面積は500haで計画変更を県から国へ要望をしている。

③再度要望取りまとめを行い、この面積拡大分も県・国へ要望をしていく。

行政としての婚活の手伝いは

問 価値観の多様化、結婚に対する意識の変化、また、出会いが少ななど未婚化・晩婚化が進む中、行政として婚活の手伝いはできないか。

答 (市長) 官と民が協働の中で婚活の政策をやっていききたい。県が今回発表される事業は、定住、出産、育児、教育までつながると思う。今後市の体制をどうするか、私達の仕事であること認識している。



▲新しい出会いのために!!



西 正博

選挙の投票率向上への施策は

市長

市ホームページより、
宣誓書の印刷も考える

問 小城市における最近の選挙の投票率の推移は、また、期日前投票を行う人の推移は。

答 (選管事務局長) 今回の参院選では47%程で県平均を下回っている。全国的にも、政治への無関心、レジャー等の優先、選挙の宣伝やPR

不足などで投票率低下の理由が挙げられている。期日前投票については、平成23年の県議会議員選挙では約14%、衆院選や市長選では約18~17%、7月の参院選では25%超の投票が行われている。

問 期日前の投票率については増加している

と思われるが、宣誓書の提出が必要になる。自治体によっては投票入場券の裏面や自治体のホームページを用いて宣誓書を事前に自宅で記入できるように利便性を良くし投票率の向上を図っている例もあるが。

答 (市長) 宣誓書を市のホームページからプリントして頂くことを推進できればと考える。

その他の質問

- 災害対策として避難行動支援と避難所の運営
- 「いじめ防止対策推進法」の制定を受けて
- 「健康マイレージ」への取り組みについて

期日前投票宣誓書

私は、期日前投票法に基づき選挙の権利、下記の権利に賛同するを表明します。

1. 投票権	選挙権	選挙権
2. 投票権	選挙権	選挙権
3. 投票権	選挙権	選挙権
4. 投票権	選挙権	選挙権
5. 投票権	選挙権	選挙権

上記は、真実であることを誓います。

平成 23 年 11 月 日

氏名: _____ 生年月日: _____ 期日前投票 申 月 日 出生 _____

住所: _____

投票所: _____

投票区	市議会	市長	選挙区	選挙区	選挙区	選挙区
1	市議会	市長	選挙区	選挙区	選挙区	選挙区
2	市議会	市長	選挙区	選挙区	選挙区	選挙区
3	市議会	市長	選挙区	選挙区	選挙区	選挙区
4	市議会	市長	選挙区	選挙区	選挙区	選挙区
5	市議会	市長	選挙区	選挙区	選挙区	選挙区

▲期日前投票宣誓書 (小城市は投票所で記入)



光岡 実

スマートインター整備 進捗状況は

市長 今年6月に、細目協定を締結

問 スマートインターチェンジ整備事業の進捗状況と今後の計画は。

答 (市長) この整備については、平成24年4月に連結許可を受け、同年6月西日本高速道路(株)と事業基本協定を締結し、協力して事業推進することを確認。今年度6月に細目協定を結び、地質調査を終え、これから詳細測量、道路設計を行い、図面がきたら地元説明会を開催し、その後幅杭測量及び用地測量につなげていきたい。

問 29年度完成に向かって計画通りか。

答 (建設部長) 平成26年度から27年度にかけて用地買収及び文化財発掘調査を予定。29年度完成に向け事業を進めていきたい。

問 周辺環境整備について、県道小城富士線の中町交差点から祇園川橋までの整備は計画通り進んでいるのか。



▲整備が待たれる県道小城富士線横町上町付近

答 (建設部長) 平成26年度から27年度にかけて用地買収及び文化財発掘調査を予定。29年度完成に向け事業を進めていきたい。

その他の質問

○サル被害について
○小城市における不登校の現状と対策



中島 正樹

市民に愛される病院像は

病院事業
管理者
特色のある病院を
目指していく

問 病院管理者としての考え方はどうか。

答 (病院管理者) 当院に4月就任したときに全職員に目指す病院像として伝えたことは「患者さんとご家族にとつて最適の診療を提供できる環境を整え、市内、県内の各医療機関とも緊密に連携して、地域の人たちから信頼される特色ある病院」と考える。

問 具体的な取り組みはどのようにしているのか。

答 (病院管理者) 職員には、「いつも笑顔と真心で、全ては病める人のために」を心がけて

日々の業務に取り組むように指示している。

会などで団長等の意見を聞き検討を進めていきたいと考えている。

非常備消防団に対する市の待遇改善は

その他の質問

問 装備も含め、その報酬なり出勤手当などの見直しを行うべきではないのか。

○都市下水路について
○小城市営住宅について

答 (市長) 現在も団員については以前と比べ様々な方面で出勤、活躍をして頂いている。消防団のほうからもそういった意見も出ていることから、今後は役員



▲地域を守る、小城市消防団(夏季訓練の模様)

りたい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。
 議録の設置及びホームページ掲載は12月の予定です。



岸川 英樹

今後の開発事業推進と課題の対応

市長

市街地整備推進調査を実施し、構想図を決定

問 開発をする13力所の整備優先度の検討、地区別の課題への対応は。

答 (市長) 今年度、土地利用方針と整合を図り、候補地を検討する。最終的な構想図の作成は3月20日までにできる。

問 ①小城駅南側、②牛津駅南側、③市役所本庁舎の西側の開発は。

答 (市長) ①小城駅南側は人口が増えて定住しやすいエリアになればと思う。②牛津駅南も人口定住と都市計画の中で道路を開発する箇所においては大変重要であると思う。③本庁舎周辺

西側は、住宅地開発が一番最適ではないかと考える。畜産農家については総合的に判断してこの場所が続けていただきたい。

○体育施設の利用と促進
 ○体育館の雨漏対策について

その他の質問

問 合併特例債活用での建設事業で、芦刈幼稚園の改築工事の利用は。

答 (教育長) 保育と教育の質をきちんとし、民営化等も進めており、計画も以前からあり早く達成したいと思っている。



▲定住人口増と開発が待たれる牛津駅南側



江島佐知子

東新町の排水処理を下水道並みに

市長

効率的だが、地元の合意形成が必要

問 小城町東新町は、トイレの水洗化ができていないままで20数年経つ。下水道が整備されるまでの10年から13年の間、現在の処理施設を活用して

答 (市長) 現在の処理施設を活用できれば効率的で、後の公共下水道整備事業費の縮減にもつながるが、全体の7割しか処理できない。地域の合意形成が必要であり、十分協議を進めていく。

答 (建設部長) 施設のオーバーホール等の整備を東新町にお願いしたい。使用料については、下水道使用料の制度を適用することになる。

問 順調に進んで、市に移行するのはいつになるか。

答 (下水道課長) 条例、予算を3月議会に提出して、26年4月から市で維持管理できればと考えている。

その他の質問

問 現在の処理施設でし尿処理をして施設を市で管理するためには、何が必要か。

○障がい者の就労支援について



▲現在の東新町の処理施設



▲旧議会棟の仮設作業場での障がい者の就労

③実測したが駐車用スペースが確保できない状況。

問 障がい者雇用の促進と、就労の場の確保の取り組みについて、①就労の現状、及び火事で焼失した市内福祉作業所への対応は。②外出支援の福祉有償運送の予約が取りにくい。③語る会で約束された障がい者用駐

答 (市長) ①福祉就労は市内4施設へ70名。市外30施設へ66名。一般企業への就労は把握できていない。市役所の障がい者雇用率は市長部局2・1%、教委部局2・0%で達成。臨時職員募集時、障がい者を対象に優先して雇用する旨必ず表記している。牛津町の公共施設の空きスペースを協議中。②多くの人が利用できるように、利用回数制限など検討したい。

その他の質問

○小城市健康プランと健康マイレージ事業について

答 (福祉部長) 実績は約9人。ひまわり約19人。判定基準は同じ。生きがいデイ以外の対応ができていたということ、地域間の差ができたのではないか。



▲芦刈から望む天山 (2013年6月末撮影)

答 (市長) ①小城市内に現在180の集落がありそれを知りだけでも大変だが、公民館や地区を知ることが大事。職員にしっかりと申し出ていきたい。②例えば、自分の興味のあるウォーキングやサイ

その他の質問

○有明海へ流出するヨシや水草対策
○防災、減災対策

問 来年度の職員採用から、週1回半日時間を与えて、1年かけて全ての集落を知るよう実行してはどうか。



香月チエミ

高齢・障がい者の地域生活実現を

市長

市役所の障がい者雇用率は達成している

問 生きがい対応型デイサービスで、北部(きさら)と南部(ひまわり)の実績が高齢者数に反比例している理由は。市の判定基準は同じか。



松尾 義幸

職員は小城市を熟知せよ

市長

小城市内の公民館や地区を知ることが大事

問 ①市内181集落の公民館を自分の目で確認し、日頃から災害や緊急時にその集落に到着できるように努力せよ。②市長はじめ職員は年に1

回川を選び、天山から有明海まで歩き地域を知ること。③職員は窓口対応のところだけでなく、全員が前を向いて職務に当たるべき。

クリーニングで回りながら知ることでも大事。③窓口での対応は、心配り、気配り、目配りが大事。職員に通達していく。



深川 高志

市道の維持管理と 国道の現状

市長

国道の除草作業は年1回
要望箇所を優先的に

問 小城市内を通る国道道の現状をどのよう
に認識されているのか。
保全対策については、特
に34号線における除草が
遅れ交通安全上も早期の
対応を求められている。
また、市道の維持管理の
方法や地元要望の扱いの
考え方及び予算配分にお
ける市道管理費の確保は
できているのか。

答 (市長) 国道の事業
内容については現在、
晴田小学校前の歩道
設置、34号線の前満江交
差点の改良が計画されて
いる。保全対策について
は、国の委託業者が2日
に1回、そして職員が1
週間に1回程度のパト

ロールを行っている。除
草作業は、年1回実施さ
れており、要望があった
箇所を優先的に行ってい
る状況である。市道の管
理は、道路舗装、路肩補
修、路肩除
草、側溝清
掃等を地元
と連携し管
理してい
る。地元要
望は、年間
2500件程
度の要望が
あり、危険
性、緊急性
が高いもの
から順次約
2000件程
度の維持補
修の対応が

度
の
要
望
が
あ
り
、
危
険
性
、
緊
急
性
が
高
い
も
の
か
ら
順
次
約
2
0
0
0
件
程
度
の
維
持
補
修
の
対
応
が



▲国道34号線除草作業前の歩道



諸泉 定次

ごみ減量化の モデル地区の検討は

市長

生ごみの減量化は
大きな課題である

問 循環型社会のモデル
事業として、生ごみ
の減量化・たい肥化で、
給食センターや保育園の
給食の残渣(食べ残し)
のたい肥化はできない

か。野菜や花作りに活用
し、子どもを通じて大人
に生ごみ活用の意識を持
たせるモデル地区の検討
を始めるべきだ。

答 (市長) 生ごみの減
量化は大きな課題で
あり、市民協働で「くう
たくん」をやってきた。
シンプルで簡単にできる
ものがあれば相当広がり
る。ある程度の実証実験
は必要だし、市民団体へ
の協力は惜しまない。

のサイレン吹鳴を実施を
してきた。そこで他の自
治体でも「非核宣言のま
ち」をアピールし、原爆
写真展や子どもたちの平
和のメッセージの展示な
ど、平和をアピールする
取り組みが必要だ。

答 (市長) 本庁舎に非
核平和宣言のまちの
懸垂幕や原爆写真展は7
月8月にやりたい。子ど
もの平和メッセージは大
事なことで実行したい。



▲市民団体が考案した木製生ごみ処理ボックス

非核宣言をアピール

問 平和行政の推進で
は、8月6日・9日

の広島・長崎原爆投下時

その他の質問

○教職員の多忙化防止



▲空き店舗の現状

問 小城市内にも放置さ
れた空き家・空き店
舗・放置事業所等が増え
てきている。そういう場

所は犯罪の温床になった
りゴミの不法投棄などに
むすびつく。持ち主に強
制的に撤去させる等の対

応ができるよ
うに条例化を
急ぐべきでは
ないか。

答 (市長)
私も以前

から気になっ
ていたことで
ある。市内に
も放置された
空き家・危険
な建築物があ
り心配してい
る。県内でも
条例を作った
市町はある
が、今秋国会

空き家・空き店舗等の 対策を

市長
法律ができ次第
条例化したい

で法律を作る動きがある
ので、それをみて小城市
でも条例を作成し、安
全・安心な町づくりを進
めていきたい。

職員採用について専門 性を持たせるように

問 職員の採用につい
ては、より専門性を

追求した採用をしたらど
うか。職員の育成と行財
政の改革になると思うが。

答 (市長) 専門職員が
不足しているとの認

識は持っている。今後バ
ランスよく採用し専門家
を育てていくようにして
いきたい。



樋渡 利光

昨年7月に提出された 陳情書は

市長
環境用水は我々も
十分理解している

問 昨年の7月に三日月
町2区からの陳情書
(環境用水確保について)
は、どのようになって
いるのか、出された区域に
今までの対応は。そして
どんな説明をされたの
か、そして結果は。

答 (市長) 環境用水が
流れなくて、環境が

悪くなっているとの指摘
を受け、取水口から樋口
公民館あたりまで歩いて
見て回った。せっかく嘉
瀬川ダムができて、農業
用水は恩恵を受けている
が、環境用水については
非常に地元住民が困って
いることを再三、国のほ
うに申し上げている。国
は全体の水量は昔と変

わっていないと、通り一
遍の言い方です。現在は
具体的な対応策を出すた
め、佐賀市、小城市とも、
もう一度再調査を行って
いる。この問題について
は我々も環境用水が流れ
ないと地域はどうなるの
かというのは十分理解し
ている。何とか

以前みたいに流
れるよう、要望
は繰り返しやっ
ていく。

問 この陳情書
にかかわらず、

陳情書、要
望書は、どんな
経過(流れ)に
なっているか、
提出区域に対

その他の質問

○障がい者福祉の充実に
ついて
○今、頻繁に起こる火災
に対する対策は



▲水のない用水路(樋口集落)



▲全開された大寺転倒ゲート

問 大雨洪水警報発令時の水調整管理の反省点、改善点や気付かれた点は。

答 (市長) 住民の皆さんに安心していただけるよう排水の連携を図りながら調整を行う。

答 (市長) 担当課で早急に協議したい。

問 福所江下流は氾濫注意水位となり、上流の大寺転倒ゲートは全開され普段より水位低下していた。水系ごとの巡回コースに変えるべきでは。

答 (市長) 六次産業化は日本の地域農業の中、大変必要であると思う。

問 農業所得の補填のため加工・販売、女性のパワー・女性の知恵で地域を守っている地区がある。市も推進してほしい。

答 (産業部長) 市内直売所加入者90名、加工グループ23名。6割が女性。

問 農林漁業者の生産・加工・販売者の実数は。

六次産業について



下村 仁司

市長 水路整備や管理は公平にできないか
防災会議の中で巡回コースやチェックシートの見直しをしたい



富永 正樹

市長 歴史の人物を生かした観光振興を
市民の盛り上がりがないと行政主導では無理

問 3年後700年祭を控えた祇園祭りや小城スマートインターチェンジ供用にマッチングさせ、小城とゆかりのある歴史上の人物、例えば日本の天才画家青木繁が死の年に恋人平島つぎと歩き釣を楽しんだ祇園橋界隈に「青木繁通り」を新設し、観光スポットにしては。

答 (市長) 市民の盛り上がりで歴史と色々な物語を地域の方が共有しないと、行政主導で何とか通りとすることはよろしくない。

小城公園での灯りのイベントに、歴史のスパイス、つまり、藩主や父親の患平癒を祈願して瀑下に凍死されたり、小城初代藩主・元茂公の死の際、殉死した至誠の人物の物語を生かした竹灯りの催しに進化させ、次代を担う子ども達へ教え伝えていくお考えは。

答 (商工観光課長) 凍死された方々を弔う

灯籠祭りの位置づけはどうかというご意見ですが、これまでの細工物の灯籠の流れもあり、現時点ではイベントの趣旨そのものを変更することは考えていない。

その他の質問

○斤議の見直しについて
○職員採用試験について



▲幻想的な灯りに照らし出された清水の滝周辺



市丸 典夫

小城公園の茶屋計画は どうなった

市長

茶屋の整備に向けた
検討会を立ち上げる

問 戦略的補助金がカットされ残念ながら茶屋計画が消えてしまった。しかしながら、市長の答弁では、規模を縮小しても、ぜひとも茶屋は

つくりたいと発言されている。現在、茶屋の計画はどうなっているのか。

答 (市長) 今月中に中心市街地活性化協議会と連携、協力して、茶屋の整備に向けた検討会を立ち上げる。その中において、昨年、まちづくり小城において検討された経緯や内容等も考慮しながら、また小城公園の高質化推進事業との調和や地域住民の皆さまのご意見をいただきながら、

問 予算措置としてどのような補助金が考えられるのか、補助事業が見つからないときは一般財源で全てを予算化するのか。

整備方針を取りまとめていく。

答 (中心市街地活性化推進室長) 現時点で、仮に公設公営、公設民営で事業を実施した場合、は、国交省の社会資本整備総合交付金が活用の対象になると考えている。

▲茶屋整備が計画される小城公園



その他の質問

○市町村設置型の市営浄化槽について

謝罪文

先般辞職いたしました、前小城市議会議員による不祥事につきまして、小城市議会の名誉と信頼を失墜し、市民の皆様方や関係者の皆様方に、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたし、議会を代表して深くお詫び申し上げます。

小城市議会では昨年10月に小城市議会基本条例を議員発議にて制定し、議会改革を推し進めてきた中で、法令順守、議員の資質向上の徹底を図っていたにもかかわらず、今回の不祥事は議会の取り組みが不十分であったことを痛感いたしており誠に残念であります。

小城市議会は今回の不祥事を謙虚にかつ厳粛に受けとめ、多くの皆様から賜りましたご叱責を肝に銘じ、二度とこのようなことのないよう、今後は前にも増して厳しい綱紀粛正に努め全議員が一丸となって、名誉と信頼の回復に努め邁進致していくことを考えております。

今後とも小城市議会に対しまして、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りましよう、伏してお願ひ申し上げます。

平成25年9月24日

小城市議会議長 中島 正之